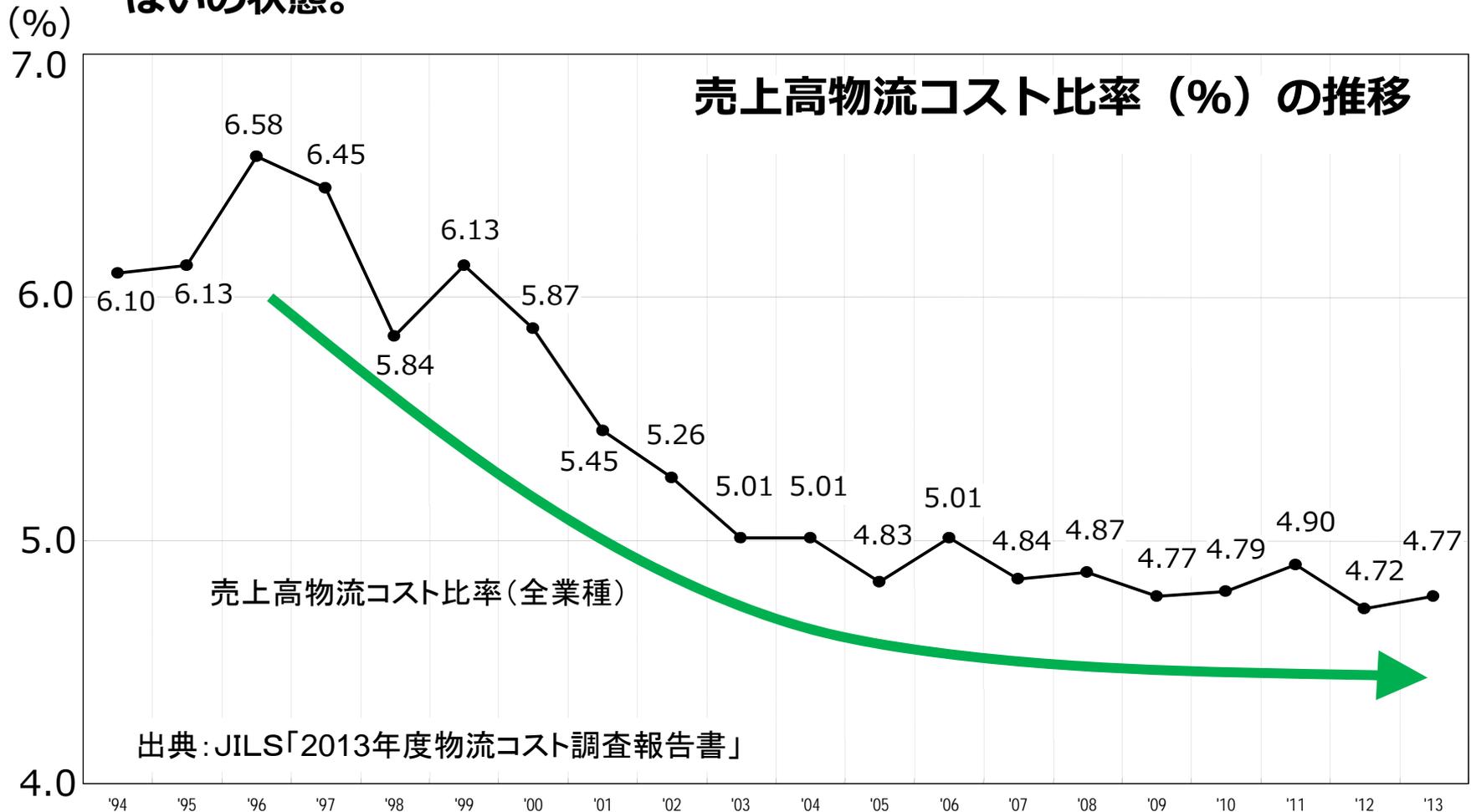


物流産業を取り巻く現状と 物流産業の重要性

平成26年11月27日

荷主における物流コストの推移

- 売上高物流コスト比率とは、荷主の売上に対する物流にかかるコスト（輸送、保管、包装等のコスト）のこと。
- 売上高に対する物流コストは長期的に減少傾向だったが、近年は5%弱で横ばいの状態。

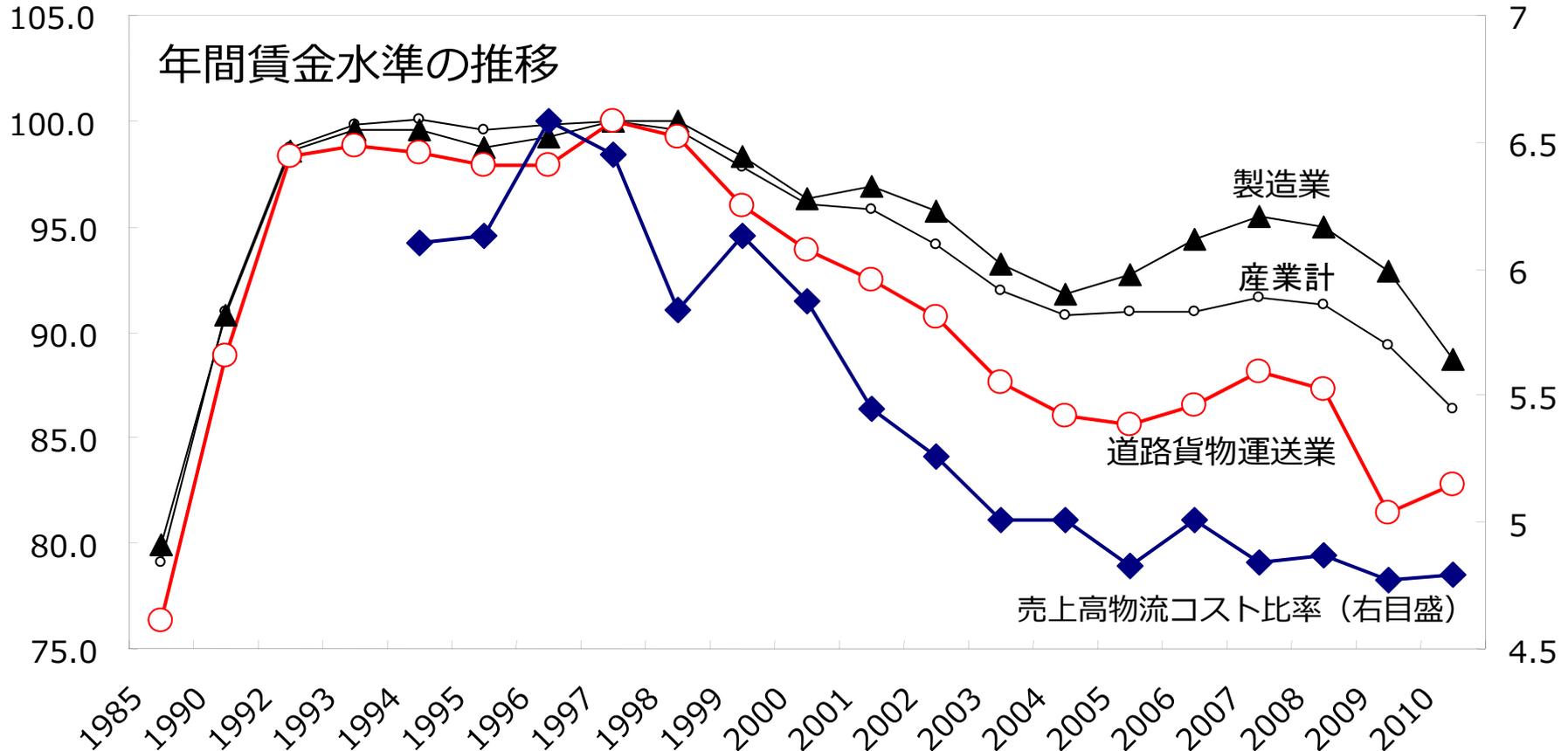


年間賃金水準の推移

- トラック運送業界の年間賃金水準は、1998年までは産業計、製造業の年間賃金水準とほぼ同じ傾向を示していたが、1999年からは産業計からの下回り幅が大きくなっている。

1997年を
100とした指数

(%)

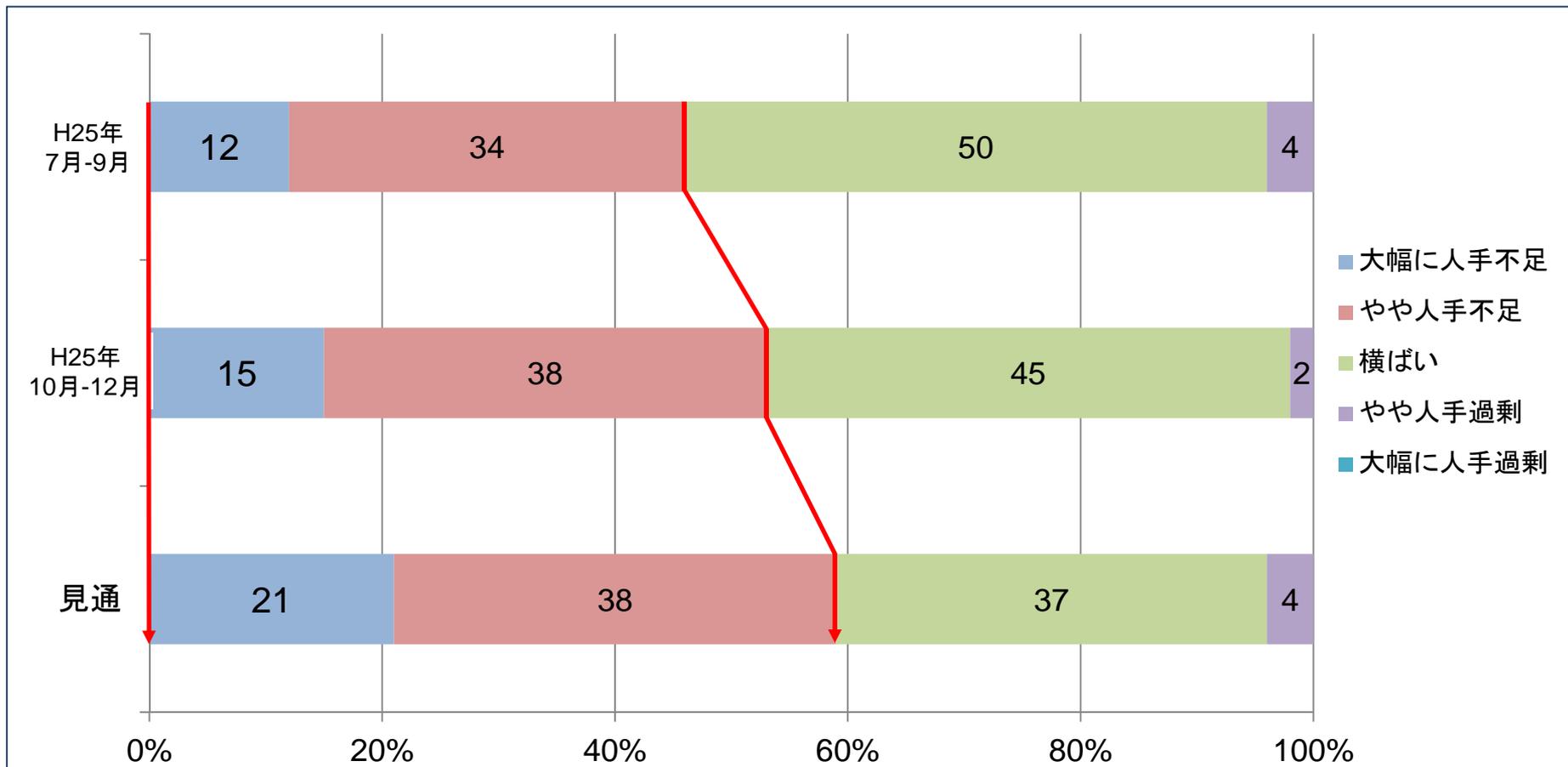


出典：日本労働組合総連合会HP (http://www.jtuc-rengo.or.jp/roudou/shuntou/2011/shuukei_bunseki/03.html) 等から作成

注記：性・学歴・年齢・勤続を同一条件とするパーシェ比較を、1997年対各年で行い、比較指数を算出。

トラック運送業界の人手不足感

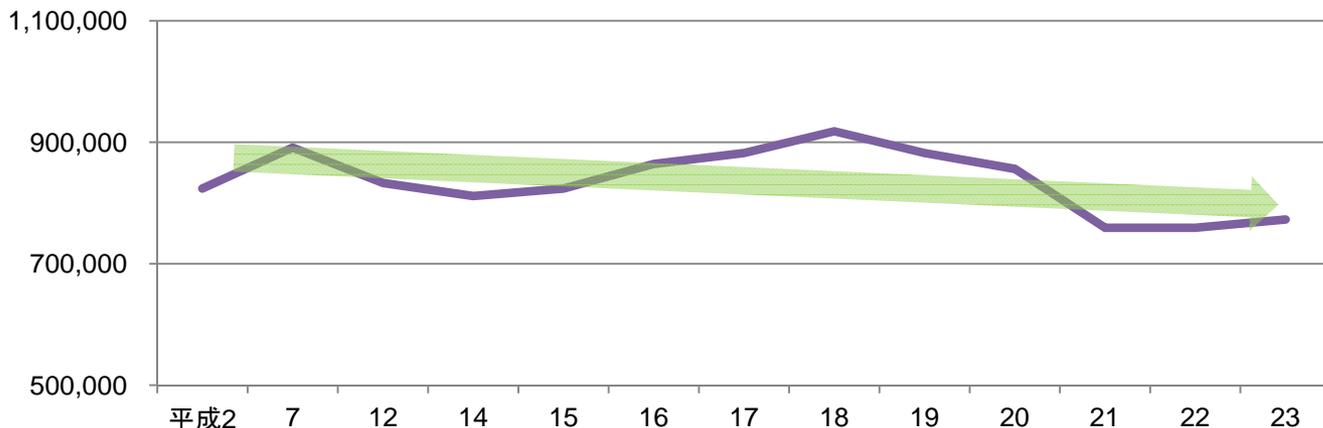
- トラック運送業界では平成25年7月～9月の調査時点に比べ、平成25年10月～12月は人手不足感が増しており、今後は更に人手不足感が強くなると見通されている。



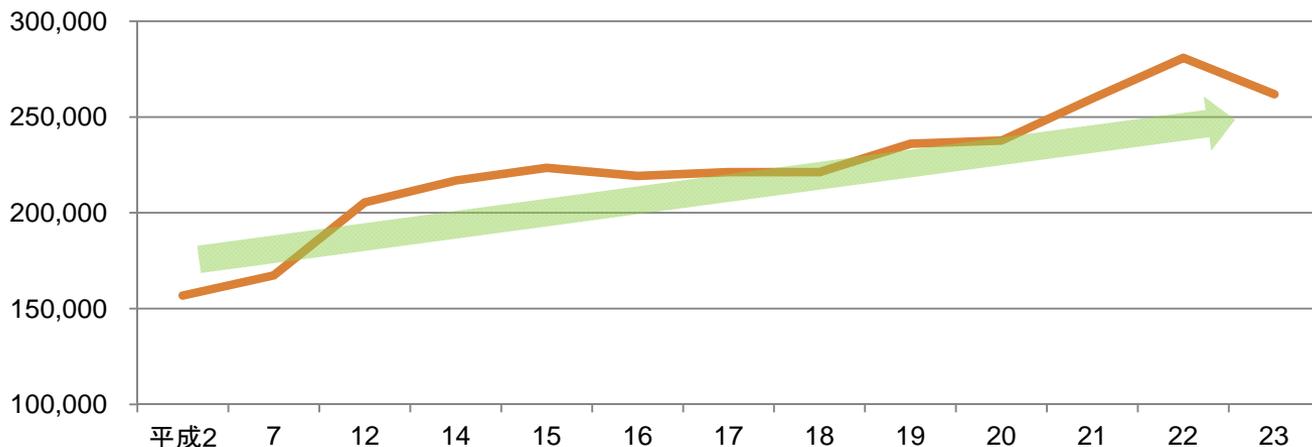
トラックドライバー数と貨物輸送量

- ドライバー数は長期的には緩やかに減少しており、それに伴い1人あたりの輸送トンキロは増加し、ドライバーへの輸送負荷が増大している。

ドライバー数（人）

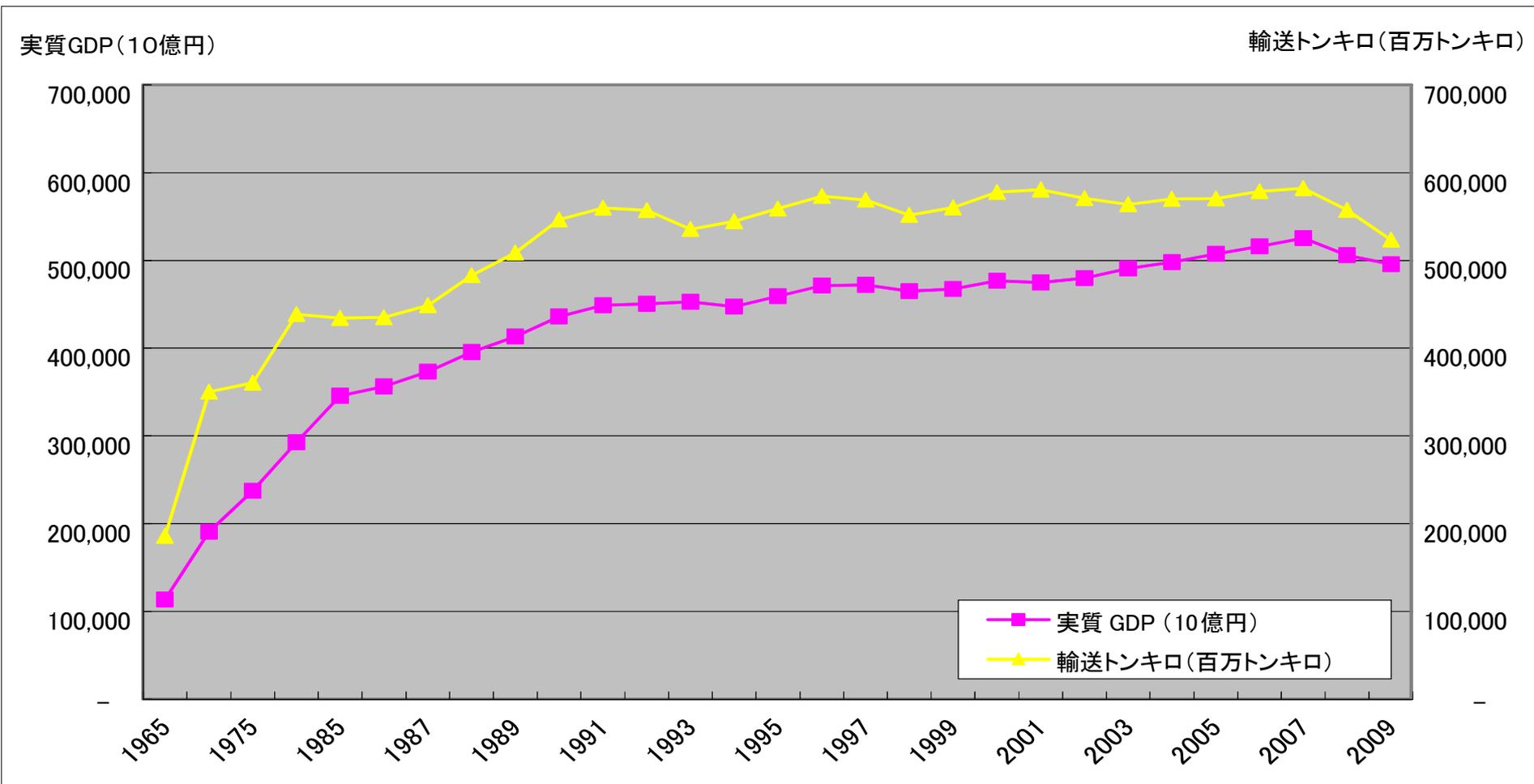


一人あたり輸送トンキロ



GDPと貨物輸送量の関連性

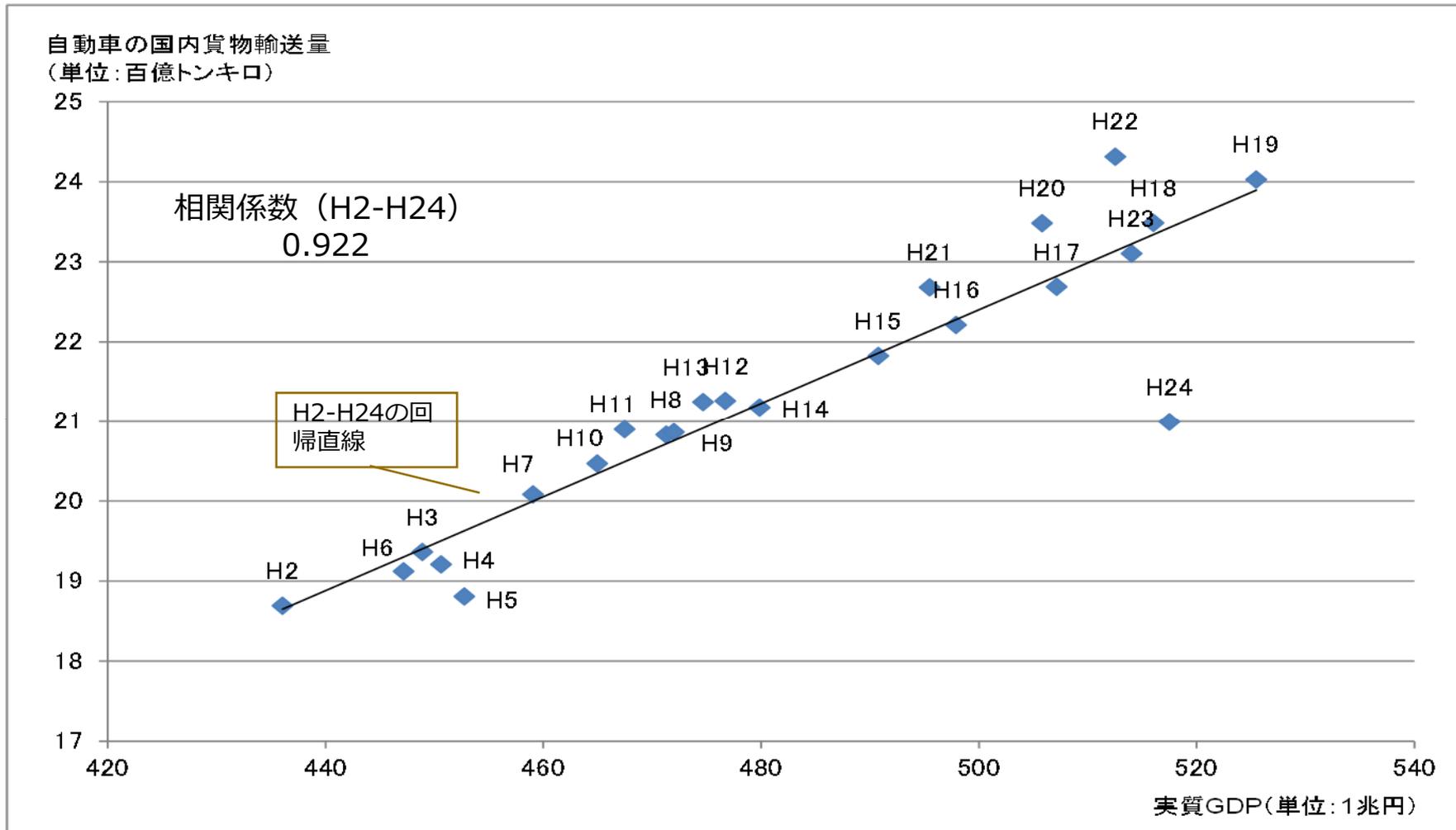
GDP（実質）と貨物輸送量（トンキロ）を比較すると、おおむね同じ傾向を示しており、経済活動と物流の結びつきが現れている。



出典：国土交通省「交通関連統計資料集」、内閣府「国民経済計算年報」等から作成による。（注1）貨物輸送量のうち自動車について調査方法の変更に伴い平成22年10月以降のデータが不連続となっており、平成21年度以前のデータを掲載している。（注2）実質GDPについては、1993年度以前については平成2年基準(68SNA)、1994年度以降については平成17年基準(93SNA)を機械的に接続したものである。基準が異なるため、正確には連続していない。

GDPと自動車貨物輸送量

- GDP（実質）と自動車貨物輸送量（トンキロ）には強い相関が見られ、自動車貨物輸送が経済活動に強い結びつきがあることがわかる。



出典: 貨物量は日本物流団体連合会「数字でみる物流2014」による。(注) 自動車の国内貨物輸送量については、平成22年10月の調査方法の変更に伴い、平成22年9月以前の統計数値については連続性がないため、出典資料にて補正が行われている。

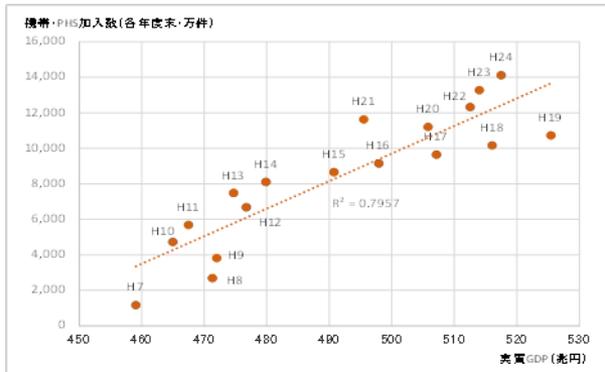
物流以外の産業活動指標とGDPの相関①

物流以外の主要産業の活動状況を表すと考えられる指標の例を産業分類ごとにGDPとの相関を整理。

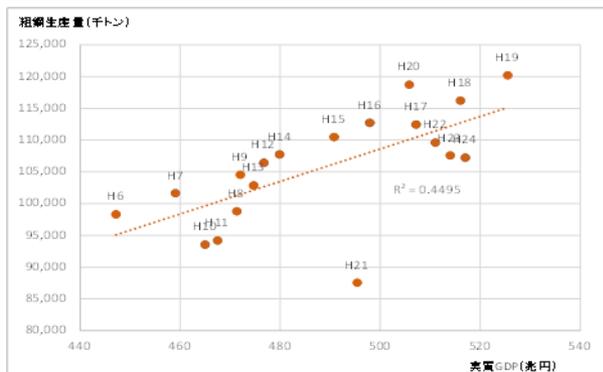
- ・ 情報通信業…携帯電話・PHS加入数 を例として分析（以下同様）
- ・ 製造業…粗鋼生産量
- ・ 生活関連サービス業、娯楽業…映画館入場者数
- ・ 教育、学習支援業…学習塾受講者数
- ・ 宿泊業、飲食サービス業…国内宿泊旅行者数
- ・ 不動産業、物品賃貸業…建築着工床面積
- ・ 卸売業、小売業…小売業販売額
- ・ 建設業…生コン出荷数量
- ・ 医療、福祉…外来患者数

（注）各指標の出典等については後掲

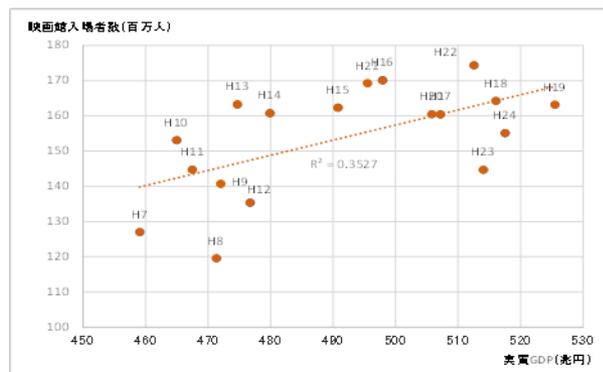
・「携帯・PHS加入数」とGDPの関連



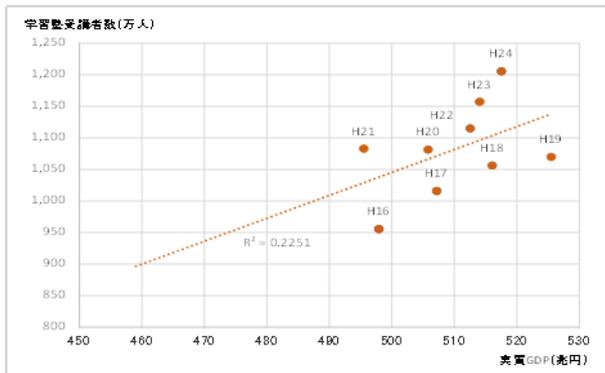
・「粗鋼生産量」とGDPの関連



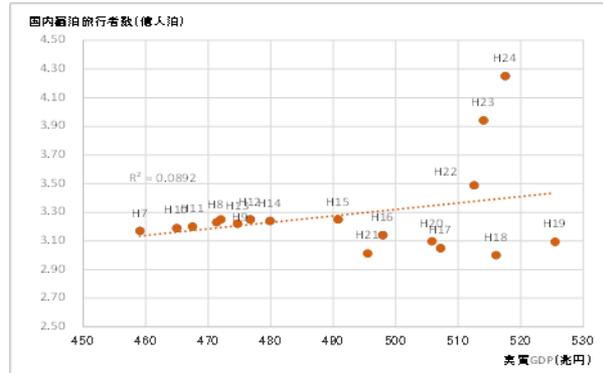
・「映画館入場者数」とGDPの関連



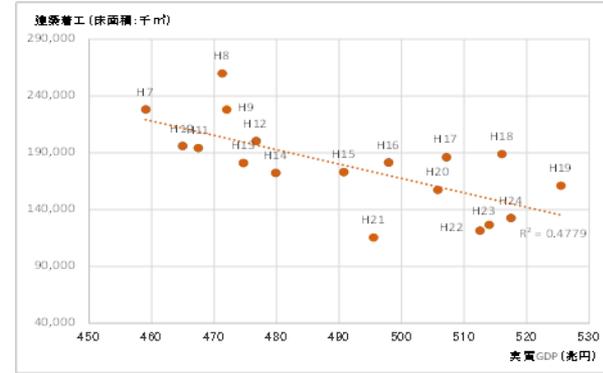
・「学習塾受講者数」とGDPの関連



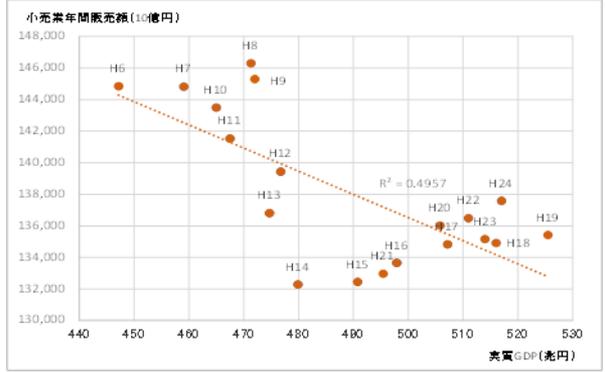
・「国内宿泊旅行者数」とGDPの関連



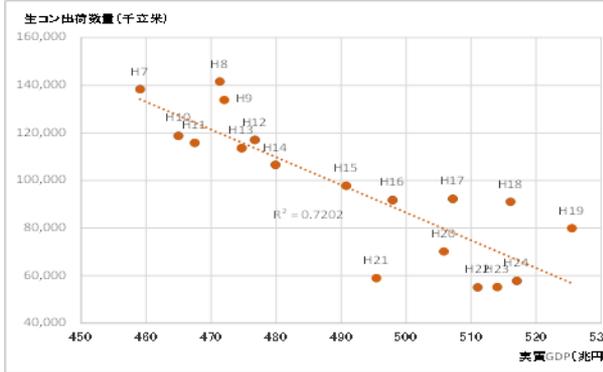
・「建築着工床面積」とGDPの関連



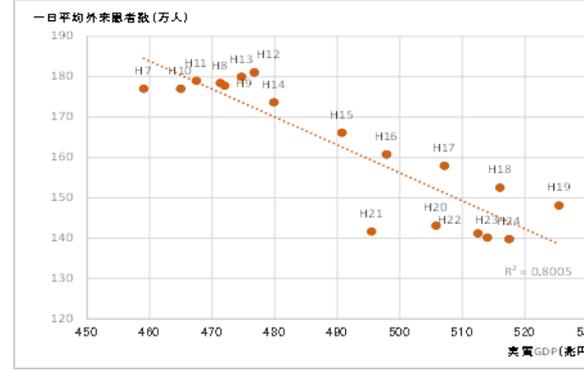
・「小売業年間販売額」とGDPの関連



・「生コン出荷数量」とGDPの関連

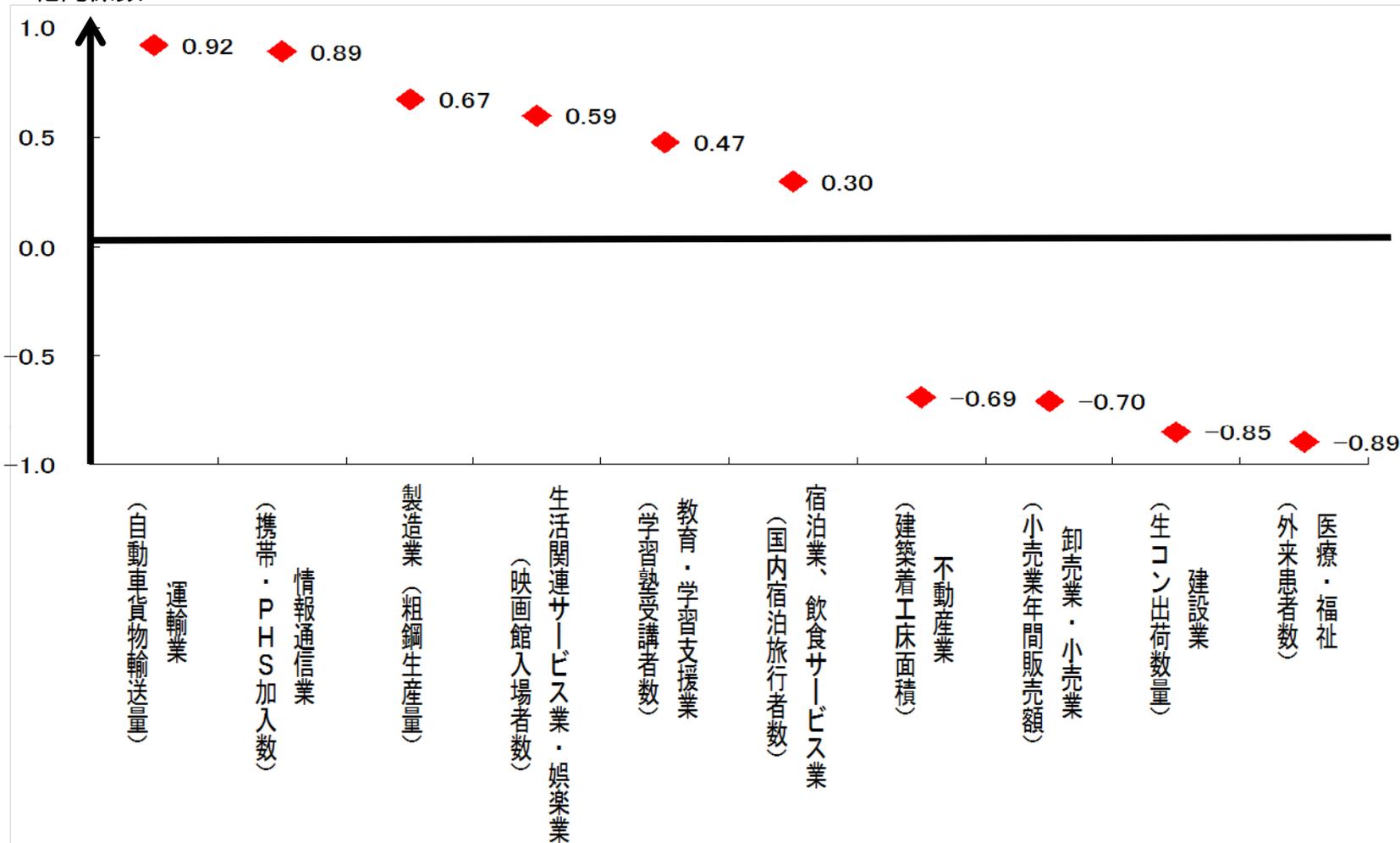


・「外来患者数(一日平均)」とGDPの関連



産業指標は一例ではあるが、物流産業の活動指標はGDPと強い相関があり、物流産業は経済活動を支える産業であるといえる。

実質GDPに対する
相関係数



各データの出典等

- ・粗鋼生産量 出典：経済産業省「鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計年報」
- ・小売業販売額 出典：経済産業省「商業動態統計」
- ・生コン出荷数量 出典：経済産業省「生コンクリート流通統計」
- ・建築着工床面積 出典：国土交通省「建築着工統計」
- ・携帯・PHS加入数 出典：総務省 情報通信統計データベース「携帯・PHSの加入契約数の推移」
- ・国内宿泊旅行者数
出典：日本旅行業協会ホームページ、
資料：法務省、日本政府観光局（JNTO）
（注）2003年までは（財）日本交通公社推計
2004年以降は（株）ツーリズム・マーケティング研究所推計
2007年度以降分は、観光庁「宿泊旅行統計調査報告」
- ・映画館入場者数 出典：公益財団法人ユニジャパン ホームページ 資料：日本映画製作者連盟
- ・学習塾受講者数 経済産業省「特定サービス産業動態統計」
（注）平成16年より業種に「学習塾」が追加されたため、それ以前のデータは未掲載。
- ・外来患者数（一日平均外来患者数）
出典：厚生労働省「平成25年(2013)医療施設（動態）調査・病院報告の概況」
資料：厚生労働省「病院報告」

～物流産業を取り巻く現状と物流産業の重要性～

- **物流産業を取り巻く現状は、ドライバー減少、ドライバー1人あたりの輸送負荷増大、人件費削減等が発生している状況にある。**
- **物流産業は、荷主の産業活動を支えるものであり、我が国経済に大きく貢献している。**
- **物流産業に関するこのような実態を踏まえ、物流産業の健全な発展を促進することが必要であり、そのための課題の一つは、各企業における経営・業務改善の高度化である。**
- **経営・業務改善の高度化の第一歩は実態の可視化であり、そのための代表的な手法である「KPI」を取り上げ、物流事業者におけるKPIのあり方について検討する。**